

高校生活での思い出

山城5回 岸 田 弘 子

来年は京三中山城高校創立百年を迎える。記念行事の一つとして記念誌を作るのでその一部分をと頼まれ、この文を書くことになった次第である。

旧制の府立第三中学校から新制の山城高校に変わって五回の卒業だが、真の新制度では一回だと思う。

入学した時の校舎は旧制からのもので、一棟が鉄筋の三階建て、あとは木造の平屋か二階建てであった。一年生の時はグラウンドの北にある木造の校舎で金網が張られていた。我々は鶏小屋と呼んでいた。ホームルームは普通科の生徒であったが、授業は講座で別々となり、一年間ホームルームだけのクラスメートという人も何人かあった。講座で常に教室移動があったが、鉄筋の校舎に移動することもあり、特に雨の日は荷物を持ち傘をさしてグラウンドを横切つての移動だったのを思い出す。

二年生はホームルームの教室が鉄筋の校舎になり、ホームルームのメンバーも普通科、家庭科が混合で編成された。授業も

国語と体育がクラス単位で受けられるようになり、クラスの人達との交流も増したのである。

三年生はまた選択科目によつてのクラスが作られ、男女の比率がアンバランスになった。私のクラスは五十人の中、女六人といったもので、授業はクラスでまとまって受けられよかったが、体育祭や球技大会といった行事では困ることもあった。

今のように受験勉強、勉強とやかましく言われない自由な空気があったが、皆それなりに勉強していたと思う。京大を始め、国公立大学に合格する人も五十人を超えていた。

スポーツの方面でも活躍が目立っており、野球は一年生の時と三年生の時と、在学中に二回も甲子園に出場している。サッカーやバスケットも全国優勝する活動をしていた。

スポーツと言えば、学校行事の一つにボートレースがあった。授業が終わってから瀬田川まで練習に出かけ、暗くなるまで練習して試合に備えるのである。選手でなくても応援に参加する。こうした行事は、他校でもあまり多くは行われなかったのではないだろうか。良い思い出の一つである。

先生方の中には個性的な方もおられ、皆熱心に授業をして下さり生徒もそれに応えて学習をしたと思う。

文武両道の自由な校風のもと、伸び伸びと高校生活を過ごせたのは幸せな事と思っている。